

2020年10月

縁が和 だより

発行:縁が和

広島市安佐北区亀山南二丁目3番27号

Tel 082-819-1750 fax 082-819-1751

MAIL: syouta@engawa-cc.com

やっとう暑さも一段落



芝生も元気になりました



白菜の苗
植えました



外でごはん

広島市の「元気なまちづくり地域活動支援事業補助金」募集に



応募しました。



コロナ禍で、縁が和でもまちづくりイベントやサークル、カフェなどほぼすべてのまちづくり活動がストップしています。そこで、このたび広島市が募集した「元気なまちづくり地域活動支援事業補助金」募集に応募し、まちづくり活動の再開を目指すことにしました。

縁が和広場活用ワークショップ開催

この補助金は、単なるコロナ対策でなく、これからどういうまちづくりをしていきたいのかを地域などで十分検討している事を重視しています。そこで、このたび、JR可部線利用促進同盟会長や地元亀山南学区の自治連会長はじめ、地域の方に参加して頂き、「縁が和ひろば・コミュニティスペース活用ワークショップ(WS)」を開催しました。WSでは、たくさんの意見やアイデアが出されました。

コロナ禍でも安心して利用できる多世代活動拠点を目指して

皆さんの意見を参考に、多世代が活躍できる活動拠点、オープンエアでの地域活性化イベントの開催、非常時の助け合いの場などを目指していく事になりました。具体的には、オープンエアでのイベント備品整備や屋外トイレ設置などでの動線・エリア分離、地域の水場づくりやサイクリング・登山休憩所、災害時に地下水を活用するための電源整備等の計画となりました。

来年3月 JR可部線延伸4周年イベントの開催も目指します。

来年春には、地域としてもJR可部線延伸4周年、新安佐市民病院完成1年前のイベントを開催したい、との意向表明もありました。

この補助金申請是非採用されますように！！！！



地域の方などに集まっていただいて
「縁が和広場活用ワークショップ」開催



根っこごとのピーナッツ

ごはん作りに来て下さっている近所の農家さんが根っこごとのピーナッツを持って来て下さいました。

人生経験の長い利用者さんも「まあ、初めて見るわ、こうやってなるんじゃね～」と感心しきり。美味しいピーナッツごはんになりました。さつま芋のツルのキンピラと共に大好評でした。

おさかな大漁！

ご近所の釣り師さんから大量のおすそわけがありました。

アジは刺身や塩焼きに、鯖はフライや一夜干しに、ハモは湯引きに、鯛は刺身に、利用者さん、スタッフも満足。ご近所さんにも再おすそ分けするほどでした。



緑が和の 日々9月



みんなで巻きずし大会！

「アラ～失敗しちゃった」「そなたにご飯入れたら巻けんよ」「いや、これくらい入れんといけん」ととても楽しい時間でした。一番うまかったのは、95歳のFさん。さすが年の功。

いつものお客さん

Mさん・Aさんより、とても素敵なお作りマスクのご寄付をいただきました。大変重宝しております。有難うございました。



緑の道

介護保険は何時からこんなに窮屈になったのだろう。介護保険創設時は、介護に携わる多くの人が「こんなケアがしたい」と新しい挑戦を始め、色んなフォーラムは熱気に満ちていた。

今は、リスク管理とコンプライアンス（法令遵守）が最優先。「これはやっても大丈夫だろうか」という不安が現場を押しつぶし、身体が縮こまる。似たような話に「専門性」がある。知り合いの研究者が以前、看護師の専門性についての論文を書いた。看護職は、自らの地位を向上させるため専門化の道を突き進んだ。その度に、患者さんの生活に関わる仕事を補助職に渡してきて、という内容だったと思う。介護も同じ道か。でも、介護に一番必要なのは専門性ではないと思う。

そういえば、三好春樹さんのかなり以前の本に「専門馬鹿に着ける薬」というタイトルがあったような。

この窮屈さからは、おおかで豊かな老後を構想する事は出来そうにない。

黒澤明監督の「夢」と言う映画に「おおかかな老い」を見事に表現した短編がある。笠智衆、寺尾聡親子出演。ぜひ一度ご覧下さい。